

今年は何をする？

町各課に聞く年頭の抱負

「今年は何をする」と題して町役場のいわゆる対町民の仕事を担当する立場から新しい年への構想やら実施を予定されていることがらあるいはそれについての見とおし、さらにはそれらの仕事を通じての所感経過報告といったものをいろいろと聞いてみた。もちろん、これらの中には町の財政的な裏付けがなければならぬ問題も多いわけであるが、だからといって単なる思いつきや、期待薄なことがらは極力さけて、新年度に当面したまたはまじめに考究されていることがらについて平易に概観してみた。しかしながらこれらの中からは、財政、すなわち再建団体としての立場さらには、新年度予算編成の過程であるなどのことから多少の抽象は免れないがしかし少なくない考慮あるいは希望をもつて述べられていることであつてみれば、仮りにその各々が満足される結果として得られないまでも、早晩解決されるべきものであろうことが期待されなければなるまい。係では、こうした意味あいにおいて、町民の皆さんに紹介するとともに、その協力をもお願いしたいと思ふものである。(8)

体験に基盤をおく事業推進

昭和三十三年はほんとうに忙しい年で、過したしまつた。

是非実現した

ことしは財政再建の第三年目に入るわけだが、何となく頭が痛いのは公債償還費の額が年間七〇〇万円という巨額に達することだ。

健康で明るい住みよい町に

「蚊とハエのいない住みよい郷土」を作る実践運動の推進意欲が年々たかまつて来たことは、総合見地からして生活環境が整備され生活の改善と住みよい郷土

今年も滞納整理を

昨年は昨年だから税金をとられ通じたかと思ふ人があつたが、今年も滞納整理を

菊地税務課長

「人生年頭に当り抱負年々学級、婦人学級、成人講座を座、何々教室といつたものが活発に行われること、用語そのものが教育的なところばが多く使われるところ

農業の打開け

農林省では、昨年の八月に「農林水産業の現状と問題点」と題した初の農業白書を発表し、これに引続いて「新農林政策要綱」を打

候補者決る

町選挙管理委員会では、このほど委員会を開き昭和三十三年度の検査審査員候補者の抽せんを行った結果次のとおり二十名が当選した。

謹賀新年

合川町議会

議長 副議長

- 高橋欣二、土濃塚武、吉田倉甚、米倉逸治、永井常治、杉淵武一郎、安部松五郎、三浦富司、金田一義、三浦義博、庄浦義博、佐藤喜兵衛、工藤文庫、関藤喜兵衛、木村恒三、佐藤伊右衛門、高橋伊三郎、高橋伊太郎、沢藤伊太郎、伊藤秀蔵、成田悦財、金田悦財、藤岡規一、桜井与之助、松橋由之助、議長 齋藤長五郎(新田)、小笠原進一(増沢)、近藤文治郎(八幡代)、正田経夫(木戸)、齋藤定之助(合川)、後藤耕一(下杉)、淵重蔵(合川)

成人手帳

一月十五日は、「成人の日」であるが法律では満二十才以上のものを「成人」と呼ぶこと

成人手帳

は完全な能力者として権利義務の主体となつてくる。これは、少年期より成人に達した場合の法律上の大きな変化である

成人手帳

学校教育法では小学校に入学しなければならぬ子女を「学令児童」と呼び、中学校の子女を「学令生徒」と呼んでいる。

成人手帳

成人に達すると少年法の適用がなくなり刑事責任を負担しなければならぬこととなる。

成人手帳

十八才以上二十五才未満という犯罪的にはごく危険な年齢層によつて犯された犯罪の激増とその対策にはひとりが国ばかりでなく世界中が頭を痛めていることである。

四十餘名を表彰

出初式盛況裏に終る

恒例の町消防団出初式は去る五日午前十時半より厳寒の西小学校グラウンドに町内外の来賓多数を招き、三百余名の全団員集合のもとに盛大に挙行された。

式は全団員の勇壮な街頭行進によって開幕され、国歌斉唱、辞令交付、団員の責任は重大であり、われわれ団員は常に団結を密にして使命の達成に努力しななければならない」との式辞が述べられて表彰状の授与が行われ、町長挨拶(助役代理)来賓祝辞、万才三唱、無火災祈願等をもって正午解散した。

なお当日表彰された人々は次のとおり

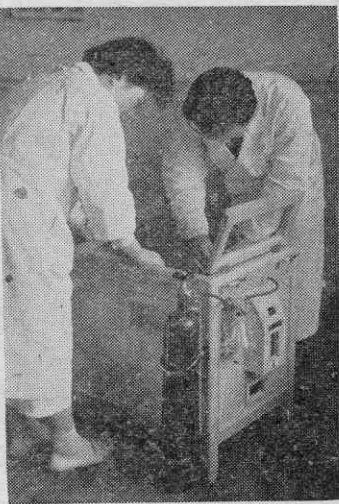
- ◆優良消防団員
 - 第一分団 鈴木 忠蔵
 - 第二分団 高橋 久直
 - 第三分団 松岡 広治
 - 第四分団 三浦 健蔵
- ◆町長表彰
 - 七座管林署
 - 三里部落
 - 町内各中学校生徒会
 - 町内各小学校児童会
- ◆感謝状
 - 町立合川病院
 - 町立合川病院ではこのほかに、秋田医療器械社より嬰兒保育器を購入し、医療陣にまた新威力が加わったと一般から期待されている。

最新式保育器備つけ

町立合川病院 早産児などに福音

町立合川病院ではこのほかに、秋田医療器械社より嬰兒保育器を購入し、医療陣にまた新威力が加わったと一般から期待されている。

町内の町若同好者の間ではかねてから「囲碁くらゐ大会」を開く準備が進められていたが、その第一回大会が去る二日午前十時から早産の新生児なども本器によって一定の温度や湿度を保たせて保育することが出来るので虚弱な赤ちゃんを待つお母さん達から歓迎され、勝田氏(北小学校教諭)、B



町内の町若同好者の間ではかねてから「囲碁くらゐ大会」を開く準備が進められていたが、その第一回大会が去る二日午前十時から早産の新生児なども本器によって一定の温度や湿度を保たせて保育することが出来るので虚弱な赤ちゃんを待つお母さん達から歓迎され、勝田氏(北小学校教諭)、B

町内のみなさま明けましておめでとうございませう。本年もよろしくお願ひ申上げます。今年こそ町民一人一人の手で、事故のない明るく楽しい合川町をつくりましょ

みんなの手で防犯を!!

町内各警察官駐在所

町内各警察官駐在所の防火、こたつ、風呂場その他、火気使用には充分気を付けてお過ごし下さい。つけ火災を絶対起きぬよう

- ①桐越 勇治(山本郡)
- ②中村 幹(合川駅前)
- ③杉淵 光徳(役 場)
- ④木村 士郎(同)
- ⑤金田 仁市(同)
- ⑥村形 徹丸(農 委)
- ⑦穴倉 養助(役 場)
- ⑧斎藤定之助(合川駅前)
- ⑨榎田芳之助(役 場)
- ⑩佐藤 米蔵(下大野農協)

学校とよく連絡をとり

病気などは早期治療を

明春三月卒業する生徒のつては事業所の選択も可能就職あつせんは、高等学校であつたというようなどではすでに去る九月上旬かには期待できないだろう」とははじめられ、また中学校みているので明春卒業の中心は十二月一日から行われ、高校生をもち家庭では、果の職業安定課では「今 次のごがらに注意される年は神武景気の余波を受け、生徒の希望する職種は昨年のように、職種によと就職希望地(県内、県外

明春三月卒業する生徒のつては事業所の選択も可能就職あつせんは、高等学校であつたというようなどではすでに去る九月上旬かには期待できないだろう」とははじめられ、また中学校みているので明春卒業の中心は十二月一日から行われ、高校生をもち家庭では、果の職業安定課では「今 次のごがらに注意される年は神武景気の余波を受け、生徒の希望する職種は昨年のように、職種によと就職希望地(県内、県外

明春三月卒業する生徒のつては事業所の選択も可能就職あつせんは、高等学校であつたというようなどではすでに去る九月上旬かには期待できないだろう」とははじめられ、また中学校みているので明春卒業の中心は十二月一日から行われ、高校生をもち家庭では、果の職業安定課では「今 次のごがらに注意される年は神武景気の余波を受け、生徒の希望する職種は昨年のように、職種によと就職希望地(県内、県外



ツルは千年生きるか? 昔から「ツルは千年、カメは万年」といつてめでたが、実際にはツルは九〇

年賀状

広報係

- 新** 新年がおめでたいとは誰決めた (御内情お察しいたします。でも古来のならわしですて)
- 年** 年は明けその他は締めて寝正月 (ガツチリ屋かな? それとも前の晩飲み過ぎたのかな?)
- 御** 御無沙汰を五円でわびる年賀状 (しかし、これが本当の新生活(運動の一つデスがね...))
- 目** 目についていた賀状の一つ女文字 (A子サン... 誰?... あゝそりやね... アノソノソビビペク)
- 出** 出す賀状どれにも特賞当りそう (怒のない人つてないですからね...)
- 度** 度々の無理を賀状でわびて来る (オヤオヤ、この分だと今年もまた無理をいつて来るらしいナ...)
- 御** 御願いを五円で祈る初詣で (チャリリン。パンパン。今年もよろしくお願ひします)
- 座** 座を認められて嫁御も初笑い (彼女も誠意を認められてサソや嬉しいことでしょう)
- 居** 居留守など誰もつかわぬ三カ日 (三日間は借金取りだつて休業ですからね...)
- ま** 先ず以て御目出度うとワンワン (今年はおクラの年なんだつてサ)
- す** すべてアチャー。飲んで使えばこれアチャー... (わたしアチャーであなはアチャーか...)

謹賀新年

合川町役場

町長 畠山義郎

助役 金田英知

収入役 関源吉

総務課長 木村士郎

民生課長 木村修司

税務課長 菊地弘勝

経済課長 柴田勝直

保険課長 土濃塚一郎

外職員一同



◎長命祝いのいろいろ

人間の長生きを祝うのを「賀寿」といつている。四十才が初老、六十一才が還暦、七十才が古稀、七十七才が喜の字、八十八才が米寿。

六十一才は、干支一周して生年の暦(干支)に還るところからいうもの。

古稀は古来稀(まれ)な長生きという意。七十七を一字にする喜になり、八十八を一字にする米になるの、はいうまでもなかる。

◎長生きは食べ物から

七十才以上の老人は、欧米では五、六%いるがわが国では二、七%しかない。ところが日本でも、高知、徳島、鳥取の各県では四パーセントから、村によつては八パーセントもいることがわかつた。

これは食物にも関係があり米を大食したり偏食したりせず、サカナを多量に食べ、また野菜や大豆をたくさんたべる地方に長生きをする人が多いといわれている。

【広報研究による】

副業振興に大きな期待

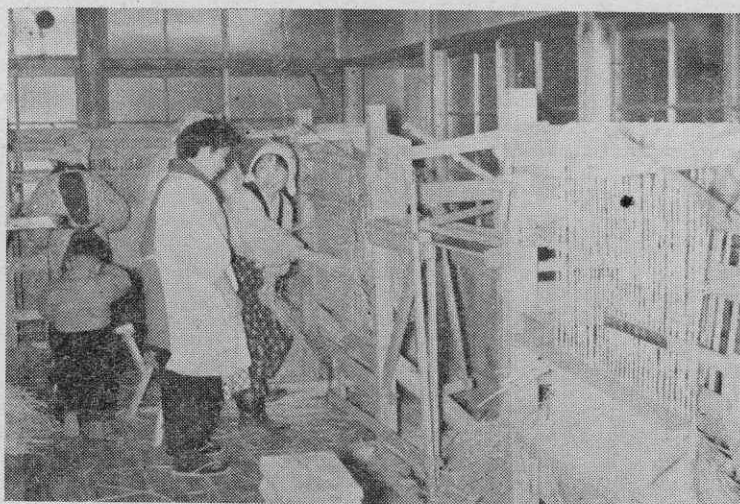
かます編機五十台を導入

町では副業振興計画の一需面でも極めて有望で本区農協へ申込みれるよう望みとして有利な吹(かます)町の副業振興に新生面を拓んでいる。(写真)吹編みの実地講習となり、昨年来町内各農協とその話し合いを続けていたが、資金面の見とおしもついたので、このほど「半田式吹編機」五十台(西地区二十五台、北地区二十五台)を導入した。

この機械は小型製編機もついている最新式のもので価格は一万七千円(内農業改良資金一万四千円は融資自己負担三千円)となつていて、希望者は続出して

落ち、下大野の両農協と町経済課では機械の導入とともに一地区五日間に亘る講習会(講師は県内で最も吹編みの盛んな南秋田郡井川村から女子二名来町)をひらき好評を博している。

この機械の生産能力は日産十五〜二十枚といわれ、一枚の価格も三十〜三十五円で農協が集荷の上、東北肥料KKや北海道方面へ出荷することになつており



町民の皆さん、新年おめでとう御座います。今年も文句を書いてそれぞれの向きに出しました。老人の心情をお察し願います。

町民の皆さん、新年おめでとう御座います。今年も文句を書いてそれぞれの向きに出しました。老人の心情をお察し願います。

新年に寄す

漫筆一題

議長 松橋由於



町民の皆さん、新年おめでとう御座います。今年も文句を書いてそれぞれの向きに出しました。老人の心情をお察し願います。

町民の皆さん、新年おめでとう御座います。今年も文句を書いてそれぞれの向きに出しました。老人の心情をお察し願います。

◇老人の意気
人が年をとつてくると、ヒゲ目を感じたり、気をま

◇世相 雑感
現代の世相はどうでしょう。一家心中に親殺し集団泥棒、学生の非行から先生たちの斗争さまで、そこでも争議が年々行事のようになつてしまっている時がない。恐ろしくも

生活の向上は貯蓄から

計画貯蓄実行のおすすめ

家庭は御主出たわずかな貯蓄、それまた楽しみを伸ばす期間がに引上げて下さい。あなたに幸福をつかむこと、お子さまの将来の進学や結婚の準備もあなたのちよつとした心がけでやすやすと出来るものであることがおわかりになると思います。

参考までに申します。

一〇、〇三七、三〇四円
一、九〇四、六八八円
三、四四七、九四四円
六、二二九、五二〇円
一〇、〇三二、五九四円

有利な桐の栽培(二)

副業メモ

前号では桐栽培の適地と播種が最も大切であるから植え方について述べました。今回は植付後の手入れについて森林組合のM氏から聞いてみました。

桐は玉といつて材の長さ六尺四寸を単位とした取引が行われるので、枝下の高さは六尺四寸の一、五倍から二倍に仕立てる必要がある。従つて所定の高さまでは枝をつけたいことが絶対必要であるから、植付間には必ず土壌から双の細い鋸などで、切口の皮をはがさぬよう丁寧に伐り、切口を鋭利な刃物で平に削っておくようにする。

衛生メモ

冬に私達を悩ますものにシモヤケがあります。シモヤケは手足の血管が寒冷のために縮まり血液の循環が悪くなるためにおきるのです。したがってその予防としては長く寒冷の状態におかさないことが大切で、とくにシモヤケになりやすい人は水仕事をするときにはゴム手袋をするとか、お湯をさして或る程度温めた水を使うようにすることが必要です。

桐の育成にはこの芽

合切りは一時的には生長を早めるが、材質が疎く脆くなつて歩止り悪く被害に弱くなるので極端に生長が悪い場合か奇形になつた場合は止むを得ない場合を除き、はむやみにやらぬ方がよい。

もしどうしても合切りを實行しなければならぬ場合は、必ず土壌から双の細い鋸などで、切口の皮をはがさぬよう丁寧に伐り、切口を鋭利な刃物で平に削っておくようにする。

また合切りの時期は、春芽が吹き出さない前がよい。

以下次号へ

死亡(二七)

松橋儀七、周吉父、三里成田長吉、本人、李岱斎藤芳太郎、本人、新田目藤田佐一郎、本人、八幡倍高橋久良、勘七郎三男、同吉田茂、茂七長男、川井吉田ノリ、達郎母、木石藤島昌広八太郎長男、木石金田七之助、本人、李岱杉浦正広、喜一郎二男、増沢佐々木賢、長三三男、合川工藤秀子、作造四女、上杉斎藤重晴、重吉孫、新田目

慶弔たより

(自昭三、〇至三、〇)

出生(三三)

金沢正美、伊十治二男、川井鈴木隆由、金治孫、福田木村久美子、四郎長女、李岱正田誠子、忠五郎孫、上杉杉浦尚子、喜一郎長女、増沢高橋政幸、政吉孫、八幡倍伊勢淑也、作治二男、同工藤秀子、作藏四女、上杉松岡英人、与三郎孫、羽根山木村文子、由雄二女、李岱吉田益夫、富五郎孫、川井松井正美、与三郎孫、福田木村昌子、亀二孫、李岱鈴木 暉、要一孫、福山田伊東真紀子、末松孫、杉山田桜田公晴、彦助孫、東根田西村雅明、哲郎二男、鎌沢中田ひろ子、勇吉長女、同山山雅任、義郎長男、木戸石佐藤弘美、吉蔵孫、同桜庭靖弘、喜代太郎孫、同吉田真智子、政治長女、川井永井礼子、常治孫、上杉梅田竹雄、長助孫、羽根山松岡広隆、卯助孫、同松井栄子、長七孫、福田高橋節子、子之松孫、同斎藤勝義、由松孫、新田目新田律郎、美代治三男、同桜田 満、秀二男、李岱松岡孝子、藤左衛門孫、羽根山金田睦子、喜代之孫、西根田福岡千秋、瑞夫五女、三里佐藤明美、小三郎孫、東根田金田良則、良雄長男、西根田鈴木達明、孫右衛門二男、鎌沢山岡みどり、多一郎孫、雪田伊藤武勝、武長男、鎌沢勝を祈りつゝ……。(杉)

たばこは合川町内で買ひましよう

県政特報版

秋田県広報 県政特報版
発行所 秋田県 編集者 秋田県総務部 総務課

県政はどう進んでいるか

皆さまにお知らせしたい

主な仕事の内容

今年の中心は 酪農、東北開発など

今年の小畑知事が就任後、三度目の正月ですが、これまで県では、一体どんなことをし、またこれからどんな仕事をしようとしているか、次に県政のあらましを紹介しましょう。

小畑知事は三十年四月、前の知事、の浦田さんから県政のバトンをおまきつぐ際に、

- ①県庁機構の改革
- ②県財政の再建
- ③産業振興の柱立て



八郎写

県民の皆さま
明けまして
おめでとう
ございます

県財政の再建

次に財政再建計画は、三十一年六月の県会にはかり、満場一致原案賛成で決まりました。

当時、本県の赤字は約十五億円で、全国二十四の赤字府県の中でも総額では第五番目、県税の収入に對し、赤字額の多いことでは残念ながら日本一の赤字県でした。

このようにして、財政の再建計画は順調に進んでいますが、今後はこれによって生じた黒字分を、おこなわれている本県の産業振興に振り向け、少しでも多く県民福祉の増進に投資したいというのが、県の意向です。

産業振興の柱立て

機構改革、財政再建の二つの仕事について昭和三十一年、いわゆる「総合振興五カ年計画」がづくられました。

この計画は、全国平均の七五％という情けない本県の県民所得をいかにして効果的にふやかすというこのためのつくりだされたもので、その施策の要点は、

- ①米一本七リりの農業に何をプラスするか。
- ②労働力資源をどう開発利用するか。
- ③県民の生活態度をいかに確立するか。

酪農、畜産の躍進

酪農を中心とする畜産振興のネットワークは、これまで農耕の手段として使ってきた投資を、農産物の収入源として経済生活を切替えていくというもので、有畜農業といふより、一歩進んだ「畜産農業」の確立にあります。

このためまず最初に手をつけたのは飼料対策で、昨年来大型機械による草刈改良を県内八十五箇所(四八〇町歩)で行っています。

未整理耕地の解消

土地改良は、三早栽培の普及、裏作の導入、機械導入等の前提をなすもので、未整理地区の解消に最も力を入れ、改良必要面積四万五千町歩のうち、その三分の一の完成を目標に、すでに過去二年で五千町歩近い改良実績をあげています。

電力の開発

また工業振興の礎である電力開発は、昨秋、燧燧タムの完成によって県管轄発電所が計画発電を行ない、さらにひびつづき田沢発電所の建設に着手しており、今年からは同じ地内の小和瀬にも発電所をつくることになっております。

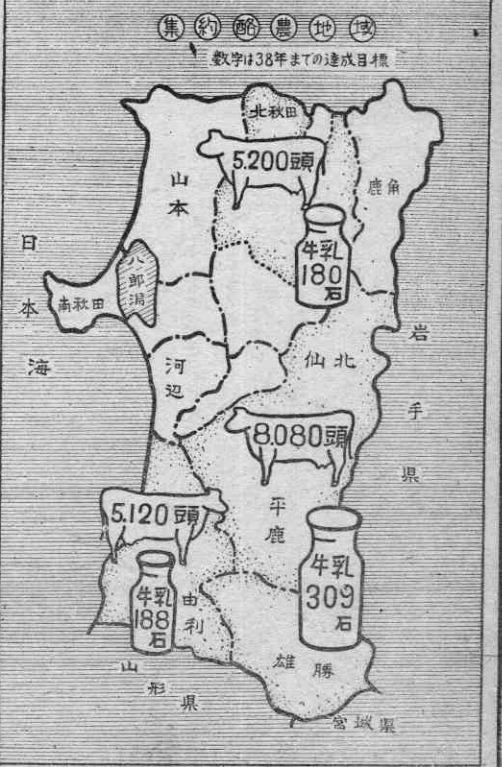
また東北電力が目下計画中の火力発電についても、秋田市に誘致したい考えで対策を進めています。

工場誘致

「工場誘致は二十一年、秋木が能代市におこしたトドボリ工場は今春早々操業の予定であり、同じく帝石が住友と提携して秋田市中におこした天然ガスの化学工場も年内に操業できる見込みです。

また東北バルブ、三菱重工業、同和工業がいずれも工場の拡充をし、その大部分は工事を終えて操業を行っております。

今後は東北開発事業の進展によりさらに木材利用工場、タイル製造工場の新設など、県内資源の開発利用がたかまわっていくものとみられています。

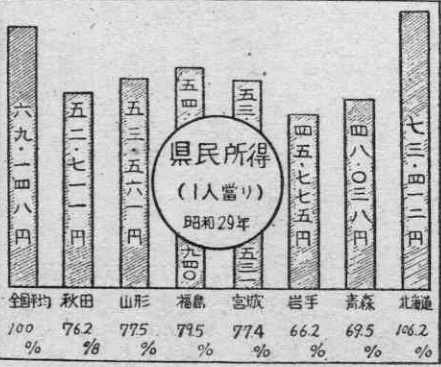
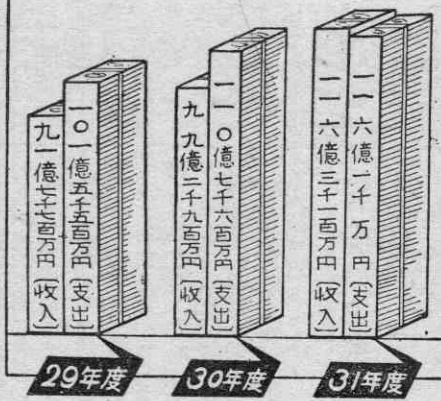


「工場誘致は二十一年、秋木が能代市におこしたトドボリ工場は今春早々操業の予定であり、同じく帝石が住友と提携して秋田市中におこした天然ガスの化学工場も年内に操業できる見込みです。

また東北バルブ、三菱重工業、同和工業がいずれも工場の拡充をし、その大部分は工事を終えて操業を行っております。

今後は東北開発事業の進展によりさらに木材利用工場、タイル製造工場の新設など、県内資源の開発利用がたかまわっていくものとみられています。

県財政事情の推移



三早栽培の普及

すなわち早蒔き、早稲刈、早刈りの三早栽培の普及は、単に冷害克服による稲の増収をはかるばかりでなく、それによって農作の普及、家畜の導入をはかると、酪農を中心とする畜産の躍進もこの二三年間で、乳牛が二千頭から四千頭にふえたのを始め、ニワトリ九万羽、豚八千頭、めん羊一万頭、山羊四千頭、役肉牛二千五百頭、増加をさせています。

特筆されることは、三十一、三十二年間で、雄平山、米代川中流、鳥海山麓の三地域が、かねて要望の集約酪農地域に指定されたこと、これによって本県の酪農もいよいよ本格的なスタートを切り、三十八年度までには乳牛三万

県産品愛用運動

県産品愛用運動は県民の健康に県産の優良品を愛用して頂き、その生産を伸ばすとともに県外品に劣らぬ品質、価格に仕上げるよう育成化していかうとするもので、このため二年前に約五百工場、千五百五十品の優良品を審査選定し、これに県で定めたマークをつけて推奨しています。

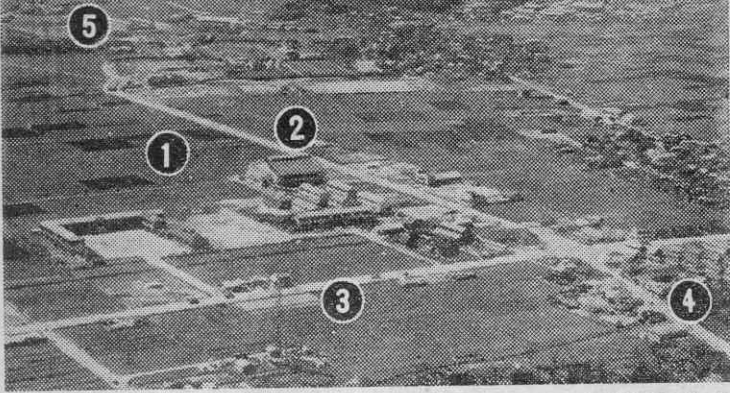
昨年七月、推奨後一年目の効果を調べてみると、県産品の生産は、食品、木工品を筆頭に全体で一五％、また県外移出高は三三％、増加していることがわかりました。今後はこの運動を土台としてさらに県外市場の開拓や、海外進出にも力を注ぎたいというのが県の考えです。

道路、橋梁の整備

道路の改良は、最もまんべんない県民へのサービスであります。今までもって現在ある道路を改修して県民に不便をかけるないようにしようという思いから、補修用の砂利をこれまでの一・三倍に思い切つてふやし、とくにトラックの砂利をこれまで一七分間で採取できる高効率の砂利採取機を七台も購入して、補修維持に力を注いだ結果、またまた十分とはいえないが、今までもと見違えるような効果をおさめています。

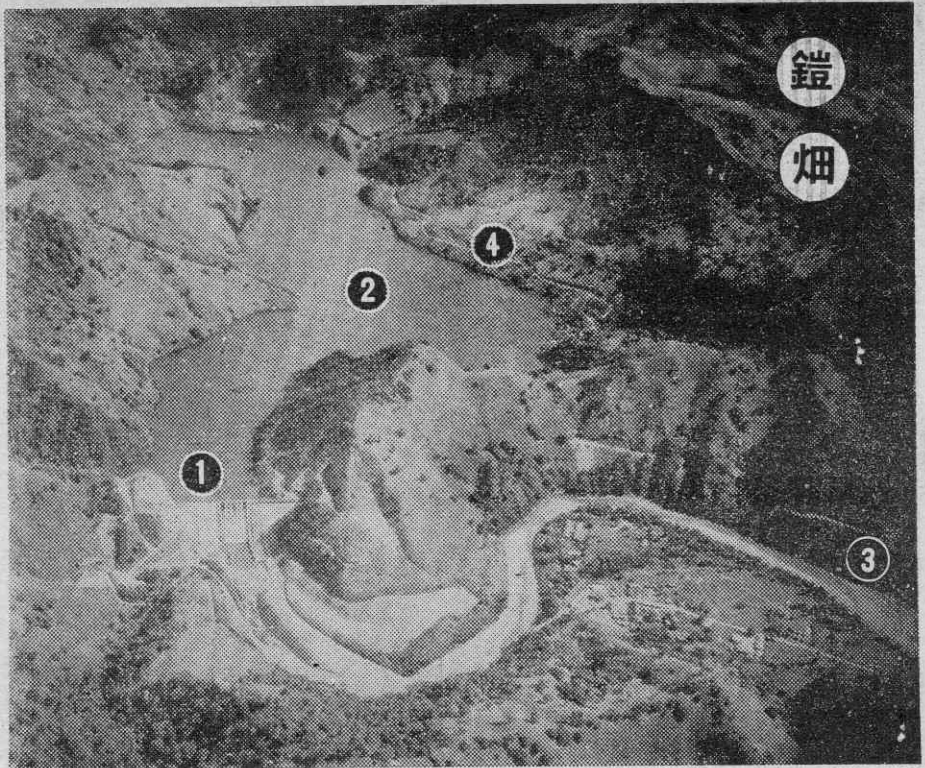
また橋梁の整備は、現在水久橋に架設中のものが六十六橋もあってすでに戦後最大の橋といわれる能力を注ぎたいというのが県の考えです。

県庁建設地



中央病院

煙燻



相づく建設事業

昨年は煙燻ダムの建設や県庁建設の全面的な発展、能代橋などの永久橋架設、県立中央病院の第二期工事(新病棟)が完成した。今年はいよいよ八郎沼干拓、生橋鷹角線の着工、雄物川上流煙燻ダムの建設、秋田、船川工業用地の造成等が予定されている。そして県都には新しい県庁の建設がはじまり、また町村は新しい村づくり、町づくりの建設をかなげることに...

新生活運動

生活態度の確立は、どんなに新しい産業が振興し、所得が向上しても、県民のそれ即ち向上しないならば、真に生活を向上させることはできないので、家庭計画、食生活の改善、貯蓄増進を中心としたいわゆる「新生活運動」として推進をはかってきました。

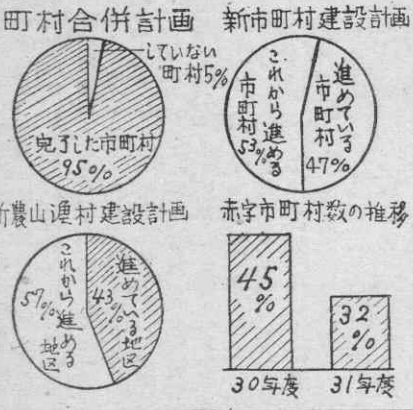
新市町村建設の推進

さとうした計画の実施も、ひとりの県民の力だけでは自ら限度があり、市町村役場や農協、その他の力を借りなければ十分成果をあげることができません。したがってこの総合振興五カ年計画もその実施については、行政の基盤である市町村に主体をおいて県はそのさき引き、あと押しをしていく方針をとっています。

教育と福祉の充実

とくに希望に燃える青年と婦人の活動が目立ってきているので、これを盛りだてていくために教育委員会に協力して定時制高校、青年学級、婦人学級、その他の婦人青年活動をおし進めたい意向です。

新しい村づくりの状況



三大事業

市町村の建設とともに、国の力をかりて産業立地条件の整備等をはかることもまた極めて大切ですが、これらの中でも本県本年の宿願であった八郎沼干拓、生橋、鷹角線の建設、東北開発の推進による道路、港等の整備事業は最も大きなものといえます。

八郎沼の干拓

八郎沼干拓は、三十一年四月、正式に干拓することになりました。現在作業準備のための作業基地が整備、作業機械類の発注などが行われていますが、このされた漁業補償問題も、近々妥結される見込みです。今年、この雪解けをまけていよいよ本格的な工事がはじまる予定です。

東北開発事業

東北開発は一昨年来、東北各県が力をあわせて推進した甲斐があつて、昨年五月に東北開発の基本法ともいふべき東北開発促進法と北海道・東北開発公庫法、東北開発株式会社法の三つの法律が制定されました。



その他

このほか過去三カ年間の主な施策としてあげられるのは、多年の念願であった八郎沼の国立公園編入が、地元と県の協力によって実現、一昨年七月から干拓八郎沼干拓、生橋、鷹角線の早期完成、道路、港、工業用地等、産業立地条件の整備を強力におし進めることになっています。

残念なきこと

また大館能代両市に相次ぐ大火があり、その被害は甚大で、秋田、船川両市に波及するおそれがあります。秋田、船川両市に波及するおそれがあります。

今後の重点

このようにして県政は、この三カ年に機軸改革から財政再建、産業の柱として、三つの基礎を確立し、県民所得の向上をめざして奮々と実績をあげてきました。したがって、本年と昨年の同様に、かかげた、本年の重点は、一昨年の北開発、八郎沼干拓、生橋、鷹角線の着工、或は雄物川の改修、契約地帯の指定など、本県の大きな政治的力を結集して外部に折衝すべき問題は、何れも明るい見通しがつき、今後の県政発展の土台が固められたことは、喜ばしいことです。

生橋、鷹角線の建設

生橋、鷹角線の建設は、県選出代議士はじめ、地元、その他の協力によって三十一年四月、正式に建設することに決まりました。昨年は用地調査や測量など工事の準備が完了しています。